



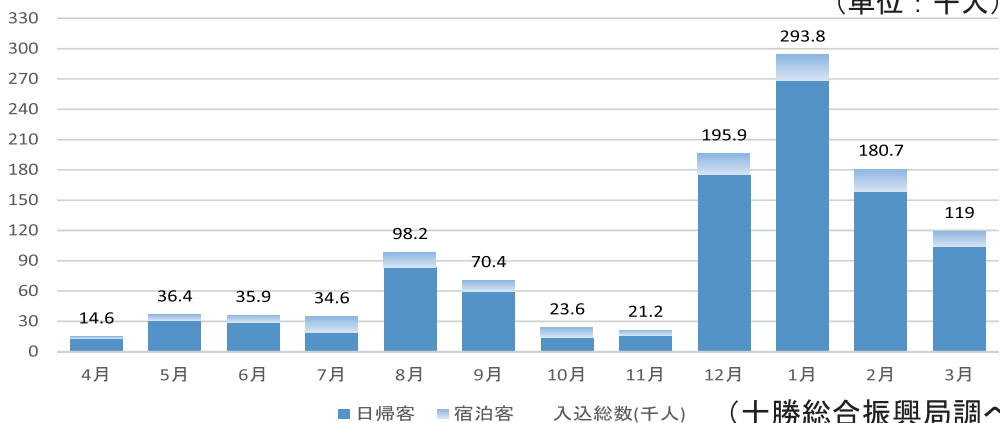
庭園鉄道を走るミニ機関車

年度	実施内容	決算額(千円)
28	◎駐車場・トイレ整備 ・8月に作成された説明資料に、概算事業費が記載される。 (約11億1200万円)	トイレ 32,400 駐車場 31,100 補助 570
29	★現地説明会 ・8月20日(日) 10時～11時30分 13時30分～15時 ★パブリックコメント ・募集期間 8月15日～9月15日	補助(予算額) 590

H27年度 新得町月別観光入込客数

《表1》

(単位：千人)



クシヨップの結果を見て、再整備をしても課題が残ると判断され、早急には進めず町民の関心を育てながら試験的取り組みを

していくこととなった。そのため、平成24年から平成26年まで園地活性化プロジェクトとし取り組みを行っている。プロジェクト初年度(平成24年度)の8月、町広報紙には4ページにわたり特集が組まれ、町民に対して周知されている。25年3月、26年の4月に町民向け説明会が開かれている。3年間の試験的取り組みが終了し、27年6月に補正予算が採択され、実施設計が行われた。同年9月の決算委員会では、「これまでの調査報告を見ると集客など不安な要素がある。将来的に負の遺産にならないよう、しつかり町民の理解を得られるように取り組んで欲しい」との声が議員から上がった。これに対し町は「整備規模、維持管理費など整理し、関係団体や町民に説明、相談しながら進めたい」との答弁であった。翌平成28年には、駐車場とトイレが整備され8月に初めて概算事業費は約11億1200万円、整備面積は有料、無料エリア合わせて約15.84haと示されている。また町としては町民説明会や

周辺施設との意見交換を重ねてきたので、軽微な変更は可能だが、庭園鉄道という実施設計は通していきたいとの説明もあった。議員の中でも、進めるべきという声、根本から考え直すべきという声、さまざまである。民間ではなく、行政がこのような観光施設を手がけると、そこに使われるお金はすべてが公金であるということは忘れてはならない。施設を作った後の運営は誰がするのか、初期投資はもちろん、運営にも税金が使われるとするなら、将来にわたりその負担は私たち町民が負い続けるということだ。行政側は、多くの方と時間を掛けて議論してきたと言う。実施設計が出された今、十分な説明がさらに求められているのではないだろうか。

【お知らせ】
『町広報紙しんとく8月号』(8月15日発行)で、狩勝高原園地再整備事業について、特集されていますので、ご参照ください。